

# 正 誤 表

「シンプル理学療法学シリーズ 日常生活活動学テキスト（改訂第3版 第1刷）」

下記の箇所にご迷惑をいたしました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	正表				
167	表の差し替え (表 14-2 ザンコリーの分類)	<b>表 14-2 ザンコリーの分類</b>				
		グループ	機能髄節レベル	残存運動機能	サブグループ	分類
		1. 肘屈曲可能群	C5	上腕二頭筋 上腕筋	A. 腕橈骨筋の機能なし B. 腕橈骨筋の機能あり	C5A C5B
		2. 手関節伸展可能群	C6	長・短橈側手根伸筋	A. 手関節背屈力が弱い B. 手関節背屈力が強い I. 円回内筋, 橈側手根屈筋, 上腕三頭筋の機能なし II. 円回内筋のみ機能あり III. 円回内筋, 橈側手根屈筋, 上腕三頭筋の3つの筋の機能あり	C6A C6BI C6BII C6BIII
		3. 手指伸展可能群	C7	総指伸筋 小指伸筋 尺側手根伸筋	A. 尺側指の完全伸展が可能 B. 全指の伸展が可能だが, 母指の伸展力が弱い	C7A C7B
		4. 手指屈曲可能群	C8	固有示指伸筋 長母指伸筋 深指屈筋 尺側手根屈筋	A. 尺側指の完全屈曲が可能 B. 全指の完全屈曲が可能で, I. 浅指屈筋の機能なし II. 浅指屈筋の機能あり	C8A C8BI C8BII
<small>[Zancoll E : Structural Dynamic Bases of Hand Surgery, p229-262, Lippincot, 1979より作成] 表中のあり・なしはMMT3を基準としている。</small>						

2020年12月25日

株式会社南江堂